

用語の説明

人口（じんこう）～国勢調査～

調査時に調査の地域に常住（3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっていること。）している者（外国人を含む。）をいう。

不詳補完値（ふしょうほかんち）～国勢調査～

令和2年国勢調査の集計に当たり、主な項目の集計結果（原数値）に含まれる「不詳」をあん分等により補完して算出した数値。5年前との比較を可能とするため、平成27年国勢調査についても同様の方法で遡及集計した結果（不詳補完値）が公表されている。

世帯（せたい）

住居と生計を共にしている者の集まり、又は一戸を構えて住んでいる単身者をいう。多くの場合、世帯は家族と一致するが、世帯と家族の概念は同一ではない。

年少人口（ねんしょうじんこう）

0～14歳の人口。

生産年齢人口（せいさんねんれいじんこう）

15～64歳の人口。

老年人口（ろうねんじんこう）

65歳以上の人口。

出生者（しゅっしょうしゃ）

出生により住民票に記載された者。

死亡者（しぼうしゃ）

死亡により住民票が削除された者。

転入者（てんにゅうしゃ）

県内外の他市町村又は国外からの転入により住民票に記載された者。転入の届出がないことにより職権で住民票に記載された者で従前の住所地が不明な者、日本国籍取得の届出により「日本人住民としての住民票」に記載された者及び日本国籍喪失の届出によって「外国人住民としての住民票」に記載された者も含む。

転出者（てんしゅつしゃ）

県内外の他市町村又は国外への転出により住民票が削除された者。転出の届出がないことにより職権で住民票が削除された者で転出先が不明な者、日本国籍喪失の届出により「日本人住民としての住民票」が削除された者及び日本国籍取得の届出により「外国人住民としての住民票」が削除された者も含む。

自然増減（しぜんぞうげん）

出生者の数－死亡者の数。自然動態ともいう。

社会増減（しゃかいぞうげん）

転入者の数－転出者の数。社会動態ともいう。

合計特殊出生率（ごうけいとくしゅしゅっしょうりつ）→期間合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性とその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

生命表（せいめいひょう）

ある期間における死亡状況（年齢別死亡率）が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が1年以内に死亡する確率や平均してあと何年生きられるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標（生命関数）によって表したもの。

平均余命（へいきんよみょう）・平均寿命（へいきんじゅみょう）

生命表に基づき、ある年齢に達した人について、これらの者のその後における生存年数の平均を、その年齢における平均余命という。特に0歳の平均余命を平均寿命という。